

優秀賞

ドーチカでのデート

宮内 瑞穂様

今から五十年近く前、つまりは堂島地下センターができたばかりの頃。そこを彼と二人のデート場所にしたことを、なつかしく思い出す。当時私は山口県在住。文通していた彼が大阪在住。実際に「会おう!」との彼の誘いを受けて、私の方が上阪した次第。田舎者の私には、ドーチカは賑やかで活気があって、さすが商売人の街だと、度胆を抜かれっ放し。彼がいろいろと話しかけて来るのも上の空で、とにかく地下街が物珍しくて、キョロキョロと、あちこち店先をのぞき込む。お昼は二人とも意見が一致して、好物のカレーライスを注文。さあ食べようとしたその時に、私はスプーンを床に落とした。拾おうと立ち上がったら、今度はテーブルのコップの水をひっくり返した。醜態。ほどなく私達に別れが……。でもあの時のドーチカは今も健在である。老若男女、若者達の行き交う未来型の街として、大きく飛躍し、今尚発展し続けている。